



京山だより

平成30年7月9日

第4号

京ヶ瀬小学校

TEL 67-2103

HPアドレス <http://kyogase-es.agano.ed.jp/>

E-mail kyogase@kyogase-es.agano.ed.jp

幸せへのスイッチオン

校長 駒形 哲宣

6月30日（土）の一日参観に多くのおうちの皆様にご来校いただき感謝申し上げます。勉強の他に、友達と遊んでいる様子や清掃、給食、学級朝会・終会などの学校生活をご覧いただきました。お子様の様子はいかがでしたか、感想や意見等をいただくと幸いです。

7月3日（火）の全校朝会では、幸せになる方法を子どもたちに伝えました。

まず、夢が叶うこと、人から認めてもらえること、そして、いつも楽しそうにしていることが幸せになる近道と伝えました。

次に、幸せは、自分の口から発せられる言葉にあることを伝えました。

いつも口にしてしている言葉「ありがとう」「いいね」「頑張ったね」など、いい言葉やふわふわ言葉をつかうといい自分になります。いい自分になることが、幸せになることにつながります。

逆に「ムカつく」「やる気しない」「ちえっ」「ムリ」「嫌だ」など、不平や不満の言葉を多く使うと嫌な自分になってしまい、幸せから遠のきます。

6月は生活目標を「ふわふわ言葉や気持ちのよい言葉をつかおう」として、全校で取り組みました。

1年生の井口さんは、言われるとうれしいふわふわ言葉は「一緒に遊ぼう」で、花澤さんは、「ありがとう」と、教えてくれました。

6年生の曾我さんは、「ありがとうと言われるとうれしいので、ふわふわ言葉大作戦の期間が終わっても、友達や家族に一日3回以上使いたいと思います。」と、ふわふわ言葉大作戦の振り返りを踏まえて、次に頑張るめあてを教えてくれました。

最後に子どもたちに、次のように話をしました。

「よかったね」「ありがとう」「頑張ったね」など、人をほめたり、感謝の言葉を言ったりすることは、自分をほめることにもなります。

ふわふわ言葉は、自分自身、みなさん一人一人を幸せにするスイッチです。ふわふわ言葉をたくさん使い、みんなで幸せになりましょう。

全校325人が、幸せいっぱいになるように、ふわふわ言葉が飛び交う京ヶ瀬小学校を先生たちと一緒につくることを、全校児童と約束し話を終えました。